

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 29 年 2 月 16 日 (2017.2.16)

【公開番号】特開 2015-158590 (P2015-158590A)  
 【公開日】平成 27 年 9 月 3 日 (2015.9.3)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-055  
 【出願番号】特願 2014-33185 (P2014-33185)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 12 日 (2017.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トナー補給型の印刷機用のトナーであって、印刷機内の補給前トナーに対して以下 (1)、(2) 及び (3) の条件を満たすことを特徴とする静電荷像現像用補給トナー。

(1)  $0.70 \leq QM(1)/QM(2) \leq 1$

(2)  $0.87 \leq AD(1)/AD(2) \leq 0.96$

(3)  $0.44 \leq BET(1)/BET(2) \leq 1$

(上記式 (1) において、 $QM(1)$  は、補給前トナーもしくは補給トナーのいずれか一方の帯電量を表し、 $QM(2)$  は残る他方のトナーの帯電量を表す。ただし、補給前トナーの帯電量と補給トナーの帯電量とは  $QM(1) \leq QM(2)$  の関係を満たす関係にあるものとする。)

上記式 (2) において、 $AD(1)$  は、補給前トナーもしくは補給トナーのいずれか一方のゆるみ見かけ密度を表し、 $AD(2)$  は残る他方のトナーのゆるみ見かけ密度を表す。ただし、補給前トナーのゆるみ見かけ密度と補給トナーのゆるみ見かけ密度とは  $AD(1) \leq AD(2)$  の関係を満たす関係にあるものとする。

上記式 (3) において、 $BET(1)$  は、補給前トナーもしくは補給トナーのいずれか一方の BET 比表面積を表し、 $BET(2)$  は残る他方のトナーの BET 比表面積を表す。ただし、補給前トナーの BET 比表面積と補給トナーの BET 比表面積とは  $BET(1) \leq BET(2)$  の関係を満たす関係にあるものとする。)

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明者は、上記の課題に鑑み鋭意検討した結果、補給前トナーと補給トナーの帯電量、BET 比表面積、ゆるみ見掛け密度において、特定の数値関係を満たすことにより、優れた画像品質を得ることができる静電荷現像用トナーを見出した。即ち、本発明の要旨は以下に存する。

トナー補給型の印刷機用のトナーであって、印刷機内の補給前トナーに対して以下 (1)

、(2)及び(3)の条件を満たすことを特徴とする静電荷像現像用補給トナー。

$$(1) \quad 0.70 \leq Q M (1) / Q M (2) \leq 1$$

$$(2) \quad 0.87 \leq A D (1) / A D (2) \leq \underline{0.96}$$

$$(3) \quad 0.44 \leq B E T (1) / B E T (2) \leq 1$$

(上記式(1)において、 $Q M (1)$ は、補給前トナーもしくは補給トナーのいずれか一方の帯電量を表し、 $Q M (2)$ は残る他方のトナーの帯電量を表す。ただし、補給前トナーの帯電量と補給トナーの帯電量とは $Q M (1) \leq Q M (2)$ の関係を満たす関係にあるものとする。